

## 船舶事故調査報告書

平成22年11月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

事故種類	釣客死亡
発生日時	不明（平成21年12月27日（日） 16時45分ごろ～18時10分ごろの間）
発生場所	不明（沖縄県 <sup>とかしき</sup> 渡嘉敷村黒島南方沖～那覇市那覇港付近の間）
事故調査の経過	平成21年12月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	遊漁船 <sup>しょうかい</sup> 翔海丸、4.2トン 296-9579 沖縄、個人所有 10.19m (Lr) × 2.58m × 0.82m、FRP ディーゼル機関、169.17kW、昭和63年5月
乗組員等に関する情報	船長 男性 48歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成3年5月8日 免許証交付日 平成18年3月7日 (平成23年5月7日まで有効) 釣客A 男性 65歳
死傷者等	死亡 1人（釣客A）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣客3人を乗せ、 <sup>けらま</sup> 慶良間列島の黒島南方沖の浅瀬を約7ノットで航行中、平成21年12月27日16時45分ごろ、船長が船尾で釣り道具を片付けている釣客Aを見た。その後、速力を約15ノットとして那覇港に向かった。 船長は、那覇港に着岸した18時10分ごろ、釣客Aが行方不明になっていることに気づき、GPSプロッターに記録された航跡をたどって捜索に向かい、また、海上保安庁と沿岸の漁業協同組合に連絡した。 釣客Aは、巡視船等により捜索が行われたが発見されず、後日、死亡認定により除籍された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1、視界 良好 海象：うねり 約1m、水温 約23℃
その他の事項	船長は、釣客Aが釣り道具を片付ける際、操舵室後部に設けられたトイレの前にクーラーボックスを置いているのを見て、帰航中はトイレの扉に背中をもたれて、クーラーボックス上に船尾方を向いて座っているものと思っていた。 釣客Aの釣り道具は、整理されて、トイレの扉の前に置かれていた。

	<p>釣客A以外の釣客2人は、遊漁を終えて帰途につくと、すぐに船室と前部甲板上でそれぞれ仮眠していた。</p> <p>本事故時、釣客は救命胴衣を着用していなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし なし 不明</p> <p>本船は、慶良間列島の黒島南方沖から那覇港に向けて航行中、16時45分ごろ船上で目撃された釣客Aが、18時10分ごろ那覇港において行方不明となっていることに気付いたことから、この間において、釣客Aが落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、慶良間列島の黒島南方沖から那覇港に向けて航行中、釣客Aが落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	